

平成二十五年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一 部



注 意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷しております。
- 2 学校裁量問題は、**三**です。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 4 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問い合わせで指示されている記号で答えなさい。
- 5 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問い合わせなさい。

問一 (1)～(4)の——線部の読みを書きなさい。

- (1) 日本の文化を海外に紹介する。
- (2) 平穩な毎日を過ぐす。
- (3) 音楽を聴いて気持ちを紛らす。
- (4) 進歩の跡が著しい。

問一 (1)～(4)の——線部を漢字で書きなさい。

- (1) でんたつ事項を黒板に書く。
- (2) 学級新聞のへんしゅう委員になる。
- (3) 銀行にお金をあずける。
- (4) おごそかに儀式を執り行う。

問三 □で囲んだ漢字を説明した次の文章の (1) に当てはまる語句を書きなさい。また、
(2) に当てはまる語句を、ア～エから一つ選びなさい。



行書で書かれたこの漢字の部首名は、(1) であり、漢字の成り立ちとしては、音を表す部分と意味を表す部分が組み合わされた (2) 文字に分類される。

ア 指事

イ 象形

ウ 会意

エ 形声

問四 次は、ある中学校で開かれる合唱発表会のちらし（A）と、生徒が書いた保護者への案内文の原稿（B）です。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(A) らし

合唱発表会	
1.	時 9月30日(日) 午前9時 開演
2.	会場 ○○中学校体育館
3.	その他 ・ビデオ撮影可 ・飲食不可

(B) 案内文の原稿

保護者の皆様へ

皆様、元気でお過りですか。

さて、私たちは、九月三十日（日）午前九時より、本校体育館で合唱発表会を行います。

皆様による発表ができるよう、毎日練習していますが、ぜひお越しください。

なお、会場では、

。

生徒一同

- (1) (B) の案内文の原稿の一線「皆様により……お越しください」は、「毎日練習していますが」と「ぜひお越しください」との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えないように、「していますが」の部分を適切に書き直しなさい。
- (2) (A) のちらしの内容をもとに、(B) の□に入る表現を考え、一文で書きなさい。

一一 次の文章を読んで、問い合わせに答えなさい。

問一　——線1 「田の当たりにしたも同然の気になれる」とあります、これはどのような気持ちになることを表したものですか、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 実際に金時丸に乗船したような気持ち。

イ あたかも金時丸のすべてを知ったような気持ち。

ウ 実際に金時丸を見たような気持ち。

問二　——線2 「さちはすぐには答えなかつた」とあります、これはどうしてですか、六十字程度で書きなさい。

問三　——線3 「師匠に教えを讀う弟子のよくな所作」とあります、このよくな永承の所作は、どのようになることを成し遂げて、いたさちに對する、どのような気持ちによるものですか、文中のことばを用いて五十字程度で書きなさい。

問四　——線4 「西田を開いた……さちを見た」とあります、このときの永承の気持ちを、次のようにまとめるとき、□①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、①は十五字以内、②は二十五字以内とします。

金時丸を下見に行つたとき、さちは自ら□①□けれども、自分はそのよくな地道な努力はしておらず、何事においても、ことに気付き、金時丸をもう一度見に行こうと決意した。

三

次の文章を読んで、問い合わせに答えなさい。

問一 次の一文は文中から抜いたものです。文中の □ A～G のうち、どこに入れるのが最も適当ですか、A～G から選びなさい。

たぶん心理学者のいう共感という考え方が、この問題を考える場合、有力な手がかりのひとつになる。

問二 一線1 「動物の『ことば』」とあります、筆者は、人間のことばと比べて動物のことばを、どのようなものだと考えていていますか。解答欄に示した表現に続けて、七十五字程度で書きなさい。

問三 一線2 「われわれはその活劇につりこまれる」とありますが、われわれ人間が、映画にひきこまれて「ハラハラ」したり、「ドキドキ」したりする理由を、次のようにまとめるとき、□ に当てはまる最も適当な表現を、文中から四十五字程度で抜き出し、その最初と最後の五字をそれぞれ書きなさい。

人間は、□ ことができるから。

問四 一線3 「われわれは『相手の身になる』能力をもつていい」とあります、医師が、患者との関係において「相手の身になる」能力とは、どのようなことができる事だと筆者は考えていますか、五十五字程度で書きなさい。

四 次の文章を読んで、問い合わせに答えなさい。

木下何某の、近臣をうち連れて樓に登り眺望ありしに、遙の向ふに松ありて、梢に鶴の巣をなして、雄雌餌を運び養育せる有り様、遠眼鏡にて望みしに、松の根より、よほど太き黒きもの段々木へ登る様、うはばみの類なるべし。「やがて巣へ登りて雛をとり喰ふならん。あれを制せよ」と、人々申し騒げどもせん方なし。しかるに、二羽の鶴のうち、一羽蛇を見付けし体にてありしが、虚空に飛び去りぬ。「哀れいかが、雛はとられなん」と手に汗して望み眺めしに、もはや、かの蛇も稍近く至り、あわやと思ふ頃、一羽の鶴遙に飛び来り、蛇の首を喰へ、帶を下げし如く空中をたち帰りしに、親鶴も程なくたち帰りて雌雄巣へ戻り、雛を養ひしとなり。鳥類ながら、その身の手に及ばざるをさとりて、同類の鷺を雇ひ來りし事、鳥類心ありける事と語りぬ。

(根岸鎮衛「耳袋」による)

(注) 何某——人の名を省略したり、ほかしたりしていうことば。

鶴——ここでは、コウノトリやアオサギなど、「鶴に似た鳥」のこと。
うはばみ——大きな蛇。

問一 ～線ア～工のうち、鶴の動作を表しているものを、一つ選びなさい。

問二 ～線「人々申し騒げども」とあります、人々は、何がどうすることを予想して騒いでいるのですか、十五字程度で書きなさい。

問三 この文章の内容を説明したものとして最も適当なものを、ア～工から選びなさい。

ア 弱いものが、身に降りかかった災難を自分だけの力で解決しようと努力して、思ひもよらない力を發揮することで解決した。

イ 賢いものが、身に降りかかった災難を自分だけの力では解決できないと判断し、多くの仲間と協力し合うことで解決した。

ウ 賢いものが、身に降りかかった災難を自分で解決しようと考へて、あきらめずに何度も挑戦することで解決した。

エ 弱いものが、身に降りかかった災難を自分での力では解決できないと気付き、強いものの力を借りることで解決した。

第一部 国語

正 答 表

学校裁量問題受検者用

問題番号

正

答

配点

番号

採点基準

四		学校裁量問題			三			二			一		
問	問	問	問	問	問	問	問	問	問	問	問	問	問
問 三	問 二	問 一	イ	(正答例)	蛇が鶴の雛を食べてしまうこと。								
計													
60	3	3	3	6	3	6	3	2	2	4	5	2	3
	㉙	㉚	㉛	㉟	㉞	㉟	㉙	㉙	㉙	㉙	㉙	㉙	㉙

- 一 問四(1)
 「していますが」が「ぜひお越しください」と適切につながるよう、理由を示す旨い方で書かれているものを正答とする。
 1 ビデオ撮影はできるが、飲食はできないことが一文で適切に表現されているものを正答とする。
 問四(2)
 1 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。
 2 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。各一点を減じる。
 3 減点の結果がマイナス点にならないようにする。

二 問二
 「見詰めている半紙の上に、金時丸の形が浮かんで見えたことを、紙の上に線が見えない永承に言つていいのか判断がつかなかつたため。

(正答例)
 ビデオ撮影はしてもよいですが、飲食はできません

(正答例)
 していますので

(正答例)
 見詰めている半紙の上に、金時丸の形が浮かんで見えたことを、紙の上に線が見えない永承に言つていいのか判断がつかなかつたため。

(正答例)
 船の長さと幅を歩幅で測った

ものごとが成就できるか否かの分かれ道は、心がけの差のなかに潜んでいた

(正答例)
 (動物の「ことばには」) 人間がことばによつて「わかる」のとおなじような作用はなく、とりわけ下等動物になればなるほど特定の刺激に対するほとんど本能的な反応のようなものである。

(正答例)
 (最初) 相手方の置 (最後) を体験する

完全解答

1 ① 「紙を見詰めていれば、描きたいものが浮かんで見える」とこと、②さちを「敬つて」いる

ことの二点が適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は二点を減じる。

2 その他については、問二の採点基準2、3に準じる。

三 問一
 1 ① 「紙を見詰めていれば、描きたいものが浮かんで見える」とこと、②さちを「敬つて」いる

ことの二点が適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は二点を減じる。

2 その他については、問二の採点基準2、3に準じる。

四 問一
 1 (医師が) 患者がことばによつて表現してからだの状態に似た状態を、みずからの体験に即して想像することができる。
 2 医師が、患者がことばによつて表現しているからだの状態を、みずからの体験に即して想像することができる。

2 その他については、問二の採点基準3並びに問四(2)の採点基準2、3に準じる。

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。